科目名	心理学	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

看護の対象である人間は、「統合体」として心理的側面を持っている。こころと言われる可視化できない実体を、知覚・思考・動機などの機能の側面から、また行動と行動の変化をもたらす原因から、さらにこころの動きを情報処理過程とした認知の側面から学ぶ。これら心理学の基礎的な概説を学び、アイデンティテイ、メタ認知等の理解を深めるとともに、人間の身体的側面と心理的側面の関連性を考察する基礎知識を習得していく。

心理学で得た人間を理解するための知識は、多様な価値観を有する人間に生じる問題の本質や解決策を学ぶ「教育学」「臨床心理学」の基盤となる。

学習目標	心理学を概観し、全体像を学ぶ。記憶、学習、情動、パーソナリティ、発達、集団といった心理学の諸分野について概論的知識を学び、「こころとは何か」「人間にとってこころとは何か」を理解し、今後の看護活動に活かしていくための基礎知識を培うことを目標とする。
学習内容	本講義においては、心理学の概論を講義する。 基礎的な知識・理論が中心となるが、看護に関連するトピックについても扱う予定である。 ①心理学とは ②感覚・知覚・認知 ③学習 ④感情 ⑤パーソナリティ ⑥発達 ⑦モチベーション ⑧対人コミュニケーション ⑨社会・組織・集団 ⑩ストレスと健康 ⑪臨床心理学と心理アセスメント ⑫心の不調とカウンセリング ⑬高齢者の理解 ⑭病気・死に向き合う心
授業形態	座学講義で行う。
評価方法および評価の観点	平常点（出席、小レポート等）および中間試験・期末試験により総合的に判断し、成績を決定する。
テキスト	テキストは用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考資料・図書	『対人援助と心のケアに活かす心理学』鈴木伸一（編著），2017年，有斐閣
履修上の留意事項・受講条件	特になし